

平成 30 年度

# 一橋大学入学者選抜要項



一橋大学

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

## 目 次

1	各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
2	学部・学科	5
3	入学定員	5
4	出願資格	6
5	障害等のある入学志願者の事前相談について	6
6	入学者選抜方法等	
	(1) 一般入試	8
	(2) 推薦入試等	8
	<b>【前期日程】</b>	
7-1	入学者選抜の実施教科・科目等について（前期日程）	10
7-2	入学者選抜日程等について（前期日程）	11
	<b>【後期日程】</b>	
8-1	入学者選抜の実施教科・科目等について（後期日程）	14
8-2	入学者選抜日程等について（後期日程）	15
9	推薦入試	16
10	外国学校出身者入試	21
11	私費外国人留学生入試	23
12	学生募集要項について	25

## 1 各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

### (1) 商学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学商学部は、企業や市場に関連した現象に関心を持ち、それを深く観察することを通して解決すべき問題を設定し、社会科学的な思考・理論と現実の現象との往復運動を繰り返しながら問題に対する解を導き、それを創造的に実行に移すことのできる人材を社会に送り出すという使命を担っています。そのために、商学部に入学者は、経営学や会計学、マーケティング、金融論といった領域を中心として、「企業や市場に関連する応用社会科学」を、少人数のゼミナールにおけるきめ細かな指導と、基礎から応用に着実に展開する段階的なカリキュラムを通じて、学んでいきます。

入学後に学習を効果的に進めるためには、社会全般に対して高い関心を有していることが重要です。企業や市場に限らず、様々な社会的問題に対する関心を抱くことは、自ら課題を見つけ、主体的に学んで、解決策を導こうとする意欲の源泉になるからです。

また、企業や市場に関連する応用社会科学を理論的に深く理解し、現実の現象を実証的に分析するためには、高度な数理的・論理的能力が必要となります。さらに、国際社会で活躍するためには、外国語によるコミュニケーション能力だけでなく一般的な言語能力が不可欠です。高等学校までの学習において、これらの基礎を身につけておくことにより、商学部での学びはより充実したものとなるでしょう。このような方針に基づいて、商学部の入試は実施されています。

本学部では推薦入試も行っており、特定の分野に特に優れている者に対して門戸を開いています。推薦入試では、センター試験で一定の成績を求めるとともに、第2次試験で小論文と面接を実施して、多面的な評価を行っています。さらに、私費外国人留学生入試を実施して、世界各国の留学生を積極的に受け入れています。商学部に所属する学生の約1割は、中国、台湾、韓国等東アジア地域を中心とする海外からの留学生です。

### (2) 経済学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学は、建学以来、自由闊達な学風のもとで、社会科学の総合大学として研究・教育を推進し、国内のみならず国際的に活躍する多くの有為な人材を輩出してきました。経済学部は、このような本学の伝統の中核を担って、経済学的な視点と知識を有する人材の育成に携わっています。

経済学は、さまざまな産業において生産されるモノやサービスが市場で交換、分配、そして消費される循環的なプロセスを広い視点から研究して、そこに現れる特徴や法則性等を見いだそうとする学問です。経済活動や経済現象の全体は複雑であり、意味のある分析をするためには、さまざまな科学的推論が必要となります。そのために、経済学は数学を必要とします。他方で、経済学は人間と社会を対象とする社会科学であり、解決すべき問題は時代の文脈に従って変化します。現在、日本、そして世界には、失業、環境、貧困、医療、少子高齢化、福祉等の重要な経済問題、社会問題があります。経済活動の国際化、あるいは技術革新の進展に伴い、新たな多くの問題も生まれています。このような問題を扱うためには、経済学の知識とともに、問題の背後を理解するため、歴史学および地理学的視点も必要とされます。また、外国語によるコミュニケーション能力もますます重要になっています。

以上のことから本学部では、以下の諸能力を備えた学生を受け入れたいと考えています。

①英語による講義を受講できる双方向の外国語能力、②経済学を理解するための数学力、③双方向コミュニケーションのための日本語能力、④経済現象を幅広い視野と多角的見地から分析できる解析力、⑤幅広い一般的知識とそれを深化させうる理解力。

本学部は、幅広い視点に立った教育を、経済学のさまざまな分野に関する授業をはじめとして、少人数のゼミナール教育を通じて多面的に実践しています。このような教育を受けた卒業生は、民間企業で活躍するほかに、かなりの学生が、官庁、民間の研究機関、世界銀行等の国際機関、そして大学院等に進みます。このことは、経済学が幅広い視点から経済活動を捉える学問である、という上述の学問的姿勢によるところが大きいものと考えられます。日本および世界には、経済学の観点から見てチャレンジングな課題が数多くあります。そのような課題に、一橋大学経済学部で我々と一緒に取り組んでみませんか。我々は、柔軟な発想とみずみずしい感性をもつ皆さんの入学を心から待ち望んでいます。

### (3) 法学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学法学部は、一橋大学のリベラルな学風の下で、豊かな人権感覚と社会的公共性に裏打ちされた法学の専門的素養と国際的洞察力を兼ね備える人材を育成することを目標としています。

本学部は、社会問題への関心が高く、論理的思考力、言語能力に優れた意欲的な学生を求めています。

実社会で生じる問題を多く扱う法学と国際関係の学習には、学生にとっては必ずしも身近とはいえない事象も含め、様々な社会事象に広く関心をもつことが必要です。日々報道される社会問題に関心を向け、広く情報収集をはかって知見を広め、自ら理解を深めようとする姿勢が重要です。現在進行中の社会問題だけでなく、日本と世界の歴史から学ぶことも多いはずで

論理的に思考し明晰な言葉で表現する力の鍛錬は、法学部のカリキュラム全体を通じてはかられるところですが、基礎的な能力は入学時にも求められます。論説文の読解や数学的思考の訓練は、論理的思考力・表現力の涵養につながるものと思われ

最後に、本学部で習得することのできる知識や能力の前提条件として、高い言語能力は必要不可欠です。ここでいう言語能力には、外国語だけでなく、日本語の読解力・表現力も含まれます。日本語については、入学の時点で、さまざまな文章の論旨を正確に把握する能力および比較的長い論理的文章を作成する能力を有していることが求められます。また、優れた国際的感覚を身につける前提として、英語を中心とする外国語でのコミュニケーション能力も重要です。グローバル化の進展のなかで、国内の実定法を専門的に学ぶことを企図する学生や法律専門職を志す学生にも、外国語の基礎学力は欠かせません。これらの能力は、多様化、グローバル化が進む世界の中で、立場や考えを異にする人々と交わり活躍してゆくための基盤となるものです。

### (4) 社会学部のアドミッション・ポリシー

一橋大学社会学部は、社会科学ならびに人文科学の専門的・総合的な教授を通じて、現代社会の諸問題を多角的・批判的に分析し豊かな構想力をもって実践的に解決する人材の育成を目指します。

この目的の実現のために社会学部が用意するカリキュラムは、さまざまな学問分野（社会学・

社会調査、国際社会学、哲学・思想、言語文化、社会心理学、人類学、地理学、教育学、政治学、スポーツ社会学、社会政策、歴史学、ジェンダー研究、等々）を専門的に、分野横断的に学修できるような作られています。また、社会学部生活後半の中核となる後期ゼミナールでは、指導教員のもと、少人数の仲間たちとともに対象を見つめ、意見を交わし、材料を分析・考察し、協同的に思考を重ねながら、学修を深化・高度化させていきます。

学生たちのこのような学修を推進するにあたって、社会学部が重視していることがふたつあります。「問題を多面的に把握する」とこと「社会が直面する課題に関心をもつ」ことです。

#### 1 現実・問題を多面的に把握する

問題にはさまざまな面があること、そうした多面性は捉え方次第でいっそう際立ったものになること、それはまた自分自身が当たり前だとしてきた前提の問い直しにもつながること・・・社会学部の学生たちはこういった理解体験を重ね、いっそうの学修の必要を感じ、それぞれの取り組みにますます注力していきます。社会学部で学ぼうとする方々には、まずこのような「問題を多面的に把握する」姿勢をもっていただきたいと思います。カリキュラムに用意されるたくさんの選択肢はそうした姿勢を養うためのものです。時に矛盾・衝突しあう知識を、さまざまな学問分野に求め、それらに依りながら問題を相対的・多面的に比較検討し、考察と判断を重ねてひとつの結論へと編み上げていく、そのような知力を獲得していただきたいと思います。

#### 2 社会が直面する課題に関心をもつ

現代社会はさまざまな課題に直面しています。メディアで、ネットで、人びとの間で、いろいろな形で言及されてもいるそれらに対して、社会学部で学ぼうとする方々、学ぶ学生たちには、常に関心を注ぎ続けていただきたいと思います。それは、たとえば、人びとと現実の多様性に心を開くということです。歴史と文化を異にするさまざまな世界のあり方に目を向け、対話と理解を続けようとすることです。そしてまた、おたがいの共感と配慮のうえに、それぞれのやり方で考え、意見を述べ、誠実かつ真摯に議論を積み重ねていくということです。

このため社会学部は特定の得意科目にとどまらず、自然科学も含めて幅広くさまざまな科目に積極的に取り組もうとする姿勢をもった学生を歓迎します。もちろん、ある科目が得意でとくにそれを詳しく学びたいという学生を拒むわけではありません。ただ、大学で学問を深めるには他分野への関心も含めた視野の広さが不可欠です。特定の科目に自信があり、大学で勉強したい分野がはっきりしている人も、その学びを深めるための土台として広範な知識と関心が必要だということを理解して欲しいと思います。また、大学で何を学ぶのかをこれから模索しようとする学生も社会学部は歓迎します。試行錯誤しながら自分の関心を次第に研ぎ澄ましていこうとする学生をサポートするカリキュラムを私たちは提供しています。

#### (5) その他（卒業要件としてのグローバル教育ポートフォリオについて）

本学では、以下のグローバル教育ポートフォリオ（\*1）のうち、aを必修とするとともに、b～gのいずれか1つ以上を必修としています。ただし、b～gについては、当面の間、在学中に実施するTOEFL-ITP試験で460点以上（\*2）を取得した学生は、要件を満たしたものとします。なお、aとcは本学の授業科目等として国内で提供します。

(※ 1) グローバル教育ポートフォリオの一覧

- a. 初年次英語スキル教育 (全学生必修科目)
- b. 短期語学留学
- c. 語学集中研修 (大学の費用負担により国内で提供)
- d. 短期海外留学 (サマースクール)
- e. 長期海外留学
- f. 海外インターンシップ
- g. ゼミを中心とした海外調査・インターゼミ等

(※ 2) 平成 29 年度入学生の入学直後の TOEFL-ITP の平均点は約 500 点です。

## 2 学部・学科

商学部	経営学科 商学科
経済学部	経済学科
法学部	法律学科
社会学部	社会学科

## 3 入学定員

学部	学科	入学定員	募集人員		
			前期日程(注1)	後期日程	推薦入試(注3)
商学部	経営学科 商学科	275人 (注2)	260人	—	15人
経済学部	経済学科	275人	200人	60人	15人
法学部	法律学科	170人 (注4)	160人	—	10人
社会学部	社会学科	235人	225人	—	10人
総計		955人	845人	60人	50人

### 〔募集人員〕

(注1) 前期日程の募集人員には、各学部とも外国学校出身者入試(5人以内)を含みます。

(注2) 商学部は、学科を区別せずに一括して募集し、第3学年進学時に配属します。

(注3) 推薦入試の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

(注4) 法学部学生は第3学年進学時に法学コース、国際関係コースのうちいずれかのコースを選択します。

(注5) 各学部とも入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格の決定を行うことがあります。

### 〔併願等〕

(注6) 入学志願者は、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの計二つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前期日程—後期日程」の併願はできますが、「前期日程—前期日程」、「後期日程—後期日程」の併願はできません。

(注7) 本学の学部間、また同一学部における推薦入試と前期日程と後期日程(経済学部のみ)の併願は行うことができます。

## 4 出願資格

平成30年度大学入試センター試験のうち本学（学部）が指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次に掲げる項目のいずれかに該当するもの（本学では、大学入試センター試験の前年度の成績は利用しないので、平成30年度大学入試センター試験を必ず受験すること。）

- 1 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）上記3に該当する者は、次のとおりです。（詳細については入試課までお問い合わせください。）

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号—大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定—）
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- (6) 本学において、個別の入学資格審査(\*)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

(\*)本学で行う「個別の入学資格審査」は、平成29年9月15日（金）（必着）まで申請を受け付けます。ただし、大学入試センター試験を受験した者で、新たに本学の受験を希望する場合は、平成30年1月19日（金）（必着）まで受け付けます。

詳細は、本学ウェブサイト「一橋大学で学びたい方へ」（<http://www.hit-u.ac.jp/admission/index.html>）をご参照ください。

## 5 障害等のある入学志願者の事前相談について

障害等があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合、その内容によっては、本学が対応を決定するまでに時間を要することがあります。本学への出願を考えている場合には、できるだけ早い時期（平成29年12月8日（金）まで）に入試課に(1)による事前相談の申請をしてください（申請が遅くなると、希望する配慮への対応が間に合わないこともあります）。

事前相談の申請をした場合であっても、本学への出願が義務付けられるわけではありません。出願する、しないが未定であっても申請はできます。

また、やむを得ない理由により期日を過ぎて申請を行う場合には、申請前に電話等でご連絡くだ



さい。なお、この場合は、以下の(2)書式例における「10 入学後配慮を希望する事項」への対応は入学後に検討することになります。入学前には本学の措置内容を通知できない旨、ご注意ください。

(1) 事前相談の方法

事前相談の申請は、(2)の書式例により「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に入試課に確認してください。

(2) 書式例 (※A4判で作成のこと)

平成 年度入学試験に係る事前相談について	
平成 年 月 日	
一橋大学入学試験委員会委員長 殿	
<p>受験に際し配慮を希望する事項及び入学後配慮を希望する事項について事前に相談したく、診断書等を添付の上で申し出ます。</p>	
(ふりがな)	
1 氏名	印 (性別 男 ・ 女 )
2 生年月日	平成 年 月 日
3 住所	(〒 )
4 電話番号	( )
5 出身学校	(平成 年 月 日 卒業・卒業見込み)
6 試験日程等	前期日程 ・ 後期日程 ・ 推薦入試 ・ 外国学校出身者入試 ・ 私費外国人留学生入試
7 志望学部	商 ・ 経済 ・ 法 ・ 社会 学部
8 障害の種類・程度	
9 受験に際し配慮を希望する事項	
10 入学後配慮を希望する事項	
11 出身校における修学上の措置	
12 添付書類	
①	医師の診断書
②	大学入試センター試験受験上の配慮事項審査結果通知書(写) (大学入試センターに申請し通知書が手元にある場合)
③	身体障害者手帳(写)
④	その他相談する際に必要と考えられる参考資料

## 6 入学者選抜方法等

### (1) 一般入試

選抜方法等		第2次試験									第2次試験 の日程	備考 〔欠員の 補充方法等〕	
		第2次 試験を 課する	実技検査等				2段階選抜						
			実技検査 を課する	面接を 行う	小論文を 課する	外国語に おけるリス ニングテ ストを課 する	主として、調査書 の内容と大学入試 センター試験の成 績により第1段階 選抜を行い、その 合格者について更 に必要な検査等 を行う	第1段階の選抜 による合格者数		募集人員に 対する倍率			その他
日程・学部・学科名													
前 期 日 程	商学部	経営学科	○	×	×	×	○	○	学部別に約3倍	×	平成30年 2月25日 (日) 2月26日 (月)	欠員が生じた場 合は、追加合格 者の決定を行う ことがある。	
	商学部	商学科											
	経済学部	経済学科											
	法学部	法律学科											
	社会学部	社会学科											
後 期 日 程	商学部	経営学科	実施しない									—	—
	商学部	商学科	実施しない									—	—
	経済学部	経済学科	○	×	×	×	×	○	約6倍	×	平成30年 3月12日 (月)	欠員が生じた場 合は、追加合格 者の決定を行う ことがある。	
	法学部	法律学科	実施しない									—	—
	社会学部	社会学科	実施しない									—	—

### (2) 推薦入試等

選抜方法等		推薦入試							推薦入試 募集人員	専門 高校・ 総合学 科卒業 生入試	アド ミッシ ョン・ オフィス 入試	外国学校出身者、 社会人等のための 特別入試				備考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する														
		第2次試験を免除し、大学 入試センター試験を課する	第2次試験及び大学入試 センター試験を免除 する	実技検査等				外国語に おけるリス ニングテ ストを課 する				その他				
実技検査 を課する	面接を 行う			小論文を 課する												
学部・学科名																
商学部	経営学科	○	×	×	○	○	×	×	15	実施しない	○	○	実施しない			
	商学部								商学科							
経済学部	経済学科															
法学部	法律学科															
	社会学部	社会学科							10							
									10							

# 前 期 日 程

7-1 入学者選抜の実施教科・科目等について（前日程）

学部・学科名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		第2次試験		大学入試センター試験・第2次試験の配点等						特別の選抜方法等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史公民	数学	理科		外国語	配点合計
商学部 入学定員 275人 募集人員 前期 255人 その他 5人以内 (3.7)	前期	国	国語総合	国	国語総合	国語	センター試験	50	50	50	50	250	外国学校出身者	
		地歴	世B, 日B, 地理B 「倫理、政治・経済」から2	教	教I・教A(全範囲)・ 教B(数列、ベクトル)	第2次試験	125	125	250	—	250	750		
		公民	「倫理、政治・経済」から2	外	英(コミュニケーション英語I, コミュニケーション英語II, コミュニケーション英語III, 英語表現I, 英語表現II) (聞き取り・書き取り試験を行います。)	計	175	175	300	50	300	1,000		
経済学部 入学定員 275人 募集人員 前期 195人 その他 5人以内 (3.3)	前期	教	「教I・教A」と「教II・教B」, 簿, 情報から1	地	世B, 日B, 地理B 「倫理、政治・経済」から2	地歴	センター試験	40	40	40	40	210	外国人	
		理	① 物基, 化基, 生基, 地学基 から2 又は ② 物, 化, 生, 地学から1	公民	「倫、政・経」から1	第2次試験	110	160	260	—	260	790		
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (英語は、リスニングを含みます。) (5～6教科7～8科目)	商業	ビジネス基礎	計	150	200	300	50	300	1,000		
法学部 入学定員 170人 募集人員 前期 155人 その他 5人以内 (3.9)	前期	国	国語総合	地	世B, 日B, 地理B 「倫、政・経」から1	地歴	センター試験	50	70	50	50	270	外国人	
		地	① 物基, 化基, 生基, 地学基 から2 又は ② 物, 化, 生, 地学から1	公民	「倫、政・経」から1	第2次試験	110	160	180	—	280	730		
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (英語は、リスニングを含みます。) (5～6教科7～8科目)	商業	ビジネス基礎	計	160	230	230	50	330	1,000		
社会学部 入学定員 235人 募集人員 前期 220人 その他 5人以内 (3.1)	前期	国	国語総合	地	世B, 日B, 地理B 「倫、政・経」から1	地歴	センター試験	20	20	20	100	20	180	外国人
		地	① 物基, 化基, 生基, 地学基 から2 又は ② 物, 化, 生, 地学から1	公民	「倫、政・経」から1	第2次試験	180	230	130	—	280	820		
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (英語は、リスニングを含みます。) (5～6教科7～8科目)	商業	ビジネス基礎	計	200	250	150	100	300	1,000		

【学部・学科名及び入学定員等】欄

○ ( ) は平成29年度志願倍率を示します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

○ 「簿記・会計」; 「情報関係基礎」を解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了(見込み)者に限ります。

○ 理科については、「基礎を付した科目」(理科グループ②)から1科目を選択します。「基礎を付した科目」の2科目と「基礎を付していない科目」の1科目を受験した場合は、点数の高いほうを用いて選抜を行います。「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目(前半に受験した科目)の成績を用います。

【第2次試験】欄

○ 数学Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

○ 公民は、「倫理」と「政治・経済」を併せて1科目とします。

○ 外国語は、第2次試験では「英語」に読み替えます。

【2段階選抜】欄

○ 第1段階の選抜方法は、大学入試センター試験の5～6教科7～8科目の得点を合計したものの(素点。ただし英語はリスニングを含む250点満点を200点に換算。)を受験者の成績とし、学部別に高得点順に一定数(募集人員の約3倍)を合格者とします。

※ リスニングを含む英語の得点250点満点は、商学部・経済学部・法学部は筆記を160点、リスニングを40点に換算して合計200点とし、社会学部は英語の筆記を180点、リスニングを20点に換算し合計200点として、他の外国語との調整をします。

## 7-2 入学者選抜日程等について（前期日程）

(1) 出願期間

平成30年1月22日（月）～平成30年1月31日（水）（必着）

(2) 第1段階選抜合格者発表日時

平成30年2月7日（水） 10時00分

(3) 試験日程

平成30年2月25日（日）・26日（月）

(4) 合格者発表日時

平成30年3月9日（金） 10時00分

# 後 期 日 程

8-1 入学者選抜の実施教科・科目等について（後期日程）

学部・学科名 及び入学定員等	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		第2次試験		大学入試センター試験・第2次試験の配点等						特別 の選抜 方法等			
		教科	グループ	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学		理科	外国語	配点 合計
経済学部 入学定員 275人 後期 募集人員 60人 (16.0)	経済学科	国	国	世B, 日B, 地理B 「倫理, 政治・経済」 から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A(全 範囲)・数B(数Ⅲ), ベクトル (なお, 「数Ⅲ」を学習 していない受験者が不利に ならないように, 選択問題 を用いる等の十分な配慮を します。)	センター試験	40	40	40	40	40	40	200	
		地歴 公民	数 理 外	① ② ① ②	「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」, 簿, 情報 から1 物基, 化基, 生基, 地学基 から2 又は 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (英語は, リスニングを含 みます。) (5教科6~7科目)	外	英(コミュニケーション英 語Ⅰ, コミュニケーション 英語Ⅱ, コミュニケーショ ン英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英 語表現Ⅱ) (聞き取り・書き取り試験 は行いません。)	第2次試験	—	—	400	—	—	800	
								計	40	40	440	40	440	1,000	

- 【学部・学科名及び入学定員等】欄
- ( ) は平成29年度志願倍率を示します。
  - 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄
    - 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了(見込み)者に限ります。
    - 理科については, 「基礎を付した科目」(理科グループ①)から2科目を選択するか, 「基礎を付していない科目」(理科グループ②)から1科目を選択します。「基礎を付した科目」の2科目と「基礎を付していない科目」の1科目を受験した場合は, 点数の高いほうを用いて選抜を行います。「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は, 第1解答科目(前半)に受験した科目)の成績を用います。
    - 地理歴史・公民を2科目受験している場合は, 第1解答科目(前半)に受験した科目)の成績を用います。
  - 【第2次試験】欄
    - 数学Bは「数Ⅲ」を出題範囲とします。
    - なお, 「数Ⅲ」を学習していない受験者が不利にならないように, 選択問題を用いる等の十分な配慮をします。
    - 外国語は, 第2次試験では「英語」に読み替えます。
  - 【2段階選抜】欄
    - 第1段階の選抜方法は, 大学入試センター試験の本学(学部)が指定する教科・科目の得点を合計したもの(素点。ただし英語はリスニングを含む250点満点を200点に換算。)を受験者の成績とし, 高得点順に一定数(募集人員の約6倍)を合格者とします。
    - ※ リスニングを含む英語の得点250点満点は, 筆記を160点, リスニングを40点に換算して合計200点として, 他の外国語との調整をします。

## 8-2 入学者選抜日程等について（後期日程）

(1) 出願期間

平成30年 1 月 22 日（月）～平成30年 1 月 31 日（水）（必着）

(2) 第 1 段階選抜合格者発表日時

平成30年 2 月 27 日（火） 10時00分

(3) 試験日程

平成30年 3 月 12 日（月）

(4) 合格者発表日時

平成30年 3 月 22 日（木） 15時00分



9 推薦入試

実施学部・学科名	商学部・経営学科／商学科																														
募集人員	15人																														
出願資格	<p>(a)平成30年度大学入試センター試験のうち本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>なお、大学入試センター試験を受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。</p>																														
出願要件	<p>次の(A)～(G)のいずれか1つ以上に該当する者</p> <p>(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア((iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上)又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。</p> <p>(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。</p> <p>(E) 数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者(第27回(平成29年1月)においては5点取得)</p> <p>※ 第26回(平成28年1月)は4点取得 第25回(平成27年1月)は6点取得 第24回(平成26年1月)は5点取得</p> <p>上記以外の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に問い合わせること。</p> <p>(F) 応用情報技術者試験(旧ソフトウェア開発技術者試験)に合格している。</p> <p>(G) 日本商工会議所簿記検定試験(日商簿記)1級を取得している。</p>																														
選抜方法等	<p>○ 第1段階選抜</p> <p>本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>○ 第2次試験</p> <p>推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入試センター試験成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。</p> <p>小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。</p> <p>大学入試センター試験・第2次試験の配点等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入試センター試験</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>第2次試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>150</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table>	教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計	大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250	第2次試験							300	150	450
教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計																						
大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250																						
第2次試験							300	150	450																						

実施学部・学科名	経済学部・経済学科																														
募集人員	15人																														
出願資格	<p>(a)平成30年度大学入試センター試験のうち本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>なお、大学入試センター試験の受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。</p>																														
出願要件	<p>次の(A)～(E)のいずれか1つ以上に該当する者</p> <p>(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア((iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上)又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。</p> <p>(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。</p> <p>(E) 数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者(第27回(平成29年1月)においては5点取得)</p> <p>※ 第26回(平成28年1月)は4点取得          第25回(平成27年1月)は6点取得          第24回(平成26年1月)は5点取得</p> <p>上記以外の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に問い合わせること。</p>																														
選抜方法等	<p>○ 第1段階選抜</p> <p>本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位275位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>○ 第2次試験</p> <p>推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入試センター試験成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。</p> <p>小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。</p> <p>大学入試センター試験・第2次試験の配点等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入試センター試験</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>第2次試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>150</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table>	教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計	大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250	第2次試験							300	150	450
教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計																						
大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250																						
第2次試験							300	150	450																						

実施学部・学科名	法 学 部 ・ 法 律 学 科																														
募 集 人 員	10人																														
出 願 資 格	<p>(a)平成30年度大学入試センター試験のうち本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>なお、大学入試センター試験の受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。</p>																														
出 願 要 件	<p>次の(A)～(E)のいずれか1つ以上に該当する者</p> <p>(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア((iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上)又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。</p> <p>(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。</p> <p>(E) 数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者(第27回(平成29年1月)においては5点取得)</p> <p>※ 第26回(平成28年1月)は4点取得          第25回(平成27年1月)は6点取得          第24回(平成26年1月)は5点取得</p> <p>上記以外の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に問い合わせること。</p>																														
選 抜 方 法 等	<p>○ 第1段階選抜</p> <p>本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位170位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位170位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>○ 第2次試験</p> <p>小論文、推薦書・調査書等の提出書類の内容をふまえた面接試験及び大学入試センター試験成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。</p> <p>小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。</p> <p>大学入試センター試験・第2次試験の配点等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入試センター試験</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>第2次試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>150</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table>	教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計	大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250	第2次試験							300	150	450
教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計																						
大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250																						
第2次試験							300	150	450																						

実施学部・学科名	社会学部・社会学科																														
募集人員	10人																														
出願資格	<p>(a)平成30年度大学入試センター試験のうち本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>なお、大学入試センター試験を受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。</p>																														
出願要件	<p>次の(A)～(F)のいずれか1つ以上に該当する者</p> <p>(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア((iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上)又はIELTS(Academic Module)Overall Band Score 6.5以上を取得している。</p> <p>(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。</p> <p>(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。</p> <p>(E) 数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者(第27回(平成29年1月)においては4点以上取得)</p> <p>※ 第26回(平成28年1月)は4点取得 第25回(平成27年1月)は6点取得 第24回(平成26年1月)は5点取得</p> <p>上記以外の点数については、裏表紙記載の問い合わせ先に問い合わせること。</p> <p>(F) 応用情報技術者試験(旧ソフトウェア開発技術者試験)に合格している。</p>																														
選抜方法等	<p>○ 第1段階選抜</p> <p>本学部が一般入試前期日程試験に関して指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位235位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。)を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般入試前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位235位相当の得点以上であった者を合格者とします。</p> <p>○ 第2次試験</p> <p>小論文、推薦書・調査書等の提出書類の内容をふまえた面接試験及び大学入試センター試験成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。</p> <p>小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。</p> <p>大学入試センター試験・第2次試験の配点等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入試センター試験</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>第2次試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>150</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table>	教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計	大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250	第2次試験							300	150	450
教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計																						
大学入試センター試験	50	50	50	50	50	50			250																						
第2次試験							300	150	450																						

出願期間	平成30年1月22日(月)～1月26日(金) (必着)
選抜期日	第2次試験 平成30年2月5日(月)
合格者発表日	第1段階選抜 平成30年2月3日(土) 10時00分 第2次試験 平成30年2月7日(水) 13時00分

別表

学部推薦入試に係る平成30年度大学入試センター試験の利用教科・科目名						
			第1欄		第2欄	
			本学部が一般入試前期日程において指定する教科・科目		第1欄に該当しない者で本学部推薦入試に限り出願資格を認める場合に指定する教科・科目	
教科	グループ	出願科目	受験科目数		受験科目数	
国語		国語	◎	1	◎	1
地理歴史		世界史B 日本史B 地理B	○ ○ ○	2	○ ○ ○	1
公民		「倫理, 政治・経済」	○		○	
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	◎	1	◎	1
	②	「数学Ⅱ・数学B」 簿記・会計 情報関係基礎	○ ○ ○	1	○ ○ ○	1
[ ※ ただし, 簿記・会計, 情報関係基礎を解答できる者は, 高等学校等においてこれらの科目を履修した者に限ります。 ]						
理科	①	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	○ ○ ○ ○	から 2		
	②	物理 化学 生物 地学	○ ○ ○ ○			
外国語		英語(リスニングを含みます。) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	○ ○ ○ ○ ○	1	○ ○ ○ ○ ○	1

- ※1 ◎印は入学志願者全員が受験しなければならない科目を示し, ○印は出願教科・科目区分欄ごとに受験科目数欄の数値だけ科目を選んで, 受験しなければならないことを示します。
- ※2 第1欄の要件を満たさない入学志願者についてのみ, 第2欄を適用します。したがって, 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した者は, 理科グループ②(「基礎を付していない科目」)を2科目受験しても, 第1欄が適用されます。
- ※3 第1欄適用者が理科グループ②を2科目受験したときは, 第1解答科目(前半に受験した科目)の成績を用います。第1欄適用者が理科グループ①(「基礎を付した科目」)の2科目と理科グループ②の1科目を受験した場合は, 得点の高い方の成績を用います。
- ※4 リスニングを含む英語の得点250点満点は, 商学部・経済学部・法学部は筆記を160点, リスニングを40点に換算して合計200点とし, 社会学部は英語の筆記を180点, リスニングを20点に換算し合計200点として, 他の外国語と調整します。

10 外国学校出身者入試

実施学部・学科名	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">商 学 部</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">経 営 学 科 商 学 科</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">経 済 学 部</td> <td></td> <td style="vertical-align: middle;">経 済 学 科</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法 学 部</td> <td></td> <td style="vertical-align: middle;">法 律 学 科</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">社 会 学 部</td> <td></td> <td style="vertical-align: middle;">社 会 学 科</td> </tr> </table>	商 学 部	}	経 営 学 科 商 学 科	経 済 学 部		経 済 学 科	法 学 部		法 律 学 科	社 会 学 部		社 会 学 科
商 学 部	}	経 営 学 科 商 学 科											
経 済 学 部		経 済 学 科											
法 学 部		法 律 学 科											
社 会 学 部		社 会 学 科											
募 集 人 員	各 学 部 5 人以内												
出 願 要 件	<p>次の(1)～(3)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を取得している者で、次のア～カのいずれかに該当するもの</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を平成29(2017)年4月1日から平成30(2018)年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成29(2017)年度に授与された者で平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>ウ 外国においてドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29(2017)年度に授与された者で平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>エ 外国においてフランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29(2017)年度に授与された者で平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>オ 外国においてグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Advanced Level）資格を平成29(2017)年度に授与された者で、平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>カ 外国においてアメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンブシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成29(2017)年度に卒業（修了）した者で、平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>※ オについては、出願書類として以下の受験結果を証明する書類を提出できること。</p> <p>① GCE Advanced Level 3科目、又は</p> <p>② GCE Advanced Level 2科目と GCE Advanced Subsidiary Level 2科目の合計4科目、のいずれかの受験結果</p> <p>ただし、受験結果は評価E以上のものに限る。</p>												

出 願 要 件	<p>(2) 外国の高等学校相当の学校において、最終学年を含めて2学年（各学年期の始業月から終業月まで）以上継続して在学した者及び在学見込みの者（飛び級等を含みます。）で当該学年の必要な単位を修得し課程を修了した者及び修了見込みのもの</p> <p>ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校並びに日本国内のインターナショナルスクール及びアメリカンスクールなどに在学した期間は含まれません。</p> <p>(3) 渡航の開始が保護者の海外勤務等のやむを得ない事情によるものであること。</p> <p>（ただし、個人の事由で留学している場合であっても、平成18(2006)年10月1日以前から留学している場合は、この限りではない。）</p>															
選 抜 方 法 等	<p>○ 選抜方法</p> <p>大学入試センター試験を免除し、第1次選抜と第2次選抜に分けて実施します。</p> <p>(1) 第1次選抜は、学力試験及び出願書類により行います。</p> <p>(2) 第2次選抜は、第1次選抜合格者に対する面接及び上記(1)の学力試験等の成績を総合して行います。</p> <p>○ 学力試験の教科・科目</p> <p>(1) 外国語</p> <p>英語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ）（聞き取り・書き取り試験を行います。）</p> <p>(2) 小論文</p> <p>社会・文化に関する論文又は資料等を示して理解力・判断力・表現力などをみます。</p> <p>○ 配点</p> <table border="1" data-bbox="501 1317 1147 1467"> <thead> <tr> <th></th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次選抜</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>第2次選抜</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>		外国語	小論文	面接	合計	第1次選抜	100	100	—	200	第2次選抜	100	100	100	300
	外国語	小論文	面接	合計												
第1次選抜	100	100	—	200												
第2次選抜	100	100	100	300												
出 願 期 間	平成 29(2017)年 12 月 1 日（金）～ 6 日（水）（必着）															
選 抜 期 日	第1次選抜 平成 30(2018)年 2 月 26 日（月） 第2次選抜 平成 30(2018)年 3 月 2 日（金）															
合 格 者 発 表 日	第1次選抜 平成 30(2018)年 3 月 1 日（木）12 時 00 分 第2次選抜 平成 30(2018)年 3 月 9 日（金）10 時 00 分															

11 私費外国人留学生入試

実施学部・学科名	<table style="border: none; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: none;">商 学 部</td> <td style="border: none;">{ 経 営 学 科</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">商 学 科</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">経 済 学 部</td> <td style="border: none;">経 済 学 科</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">法 学 部</td> <td style="border: none;">法 律 学 科</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">社 会 学 部</td> <td style="border: none;">社 会 学 科</td> </tr> </table>	商 学 部	{ 経 営 学 科		商 学 科	経 済 学 部	経 済 学 科	法 学 部	法 律 学 科	社 会 学 部	社 会 学 科
商 学 部	{ 経 営 学 科										
	商 学 科										
経 済 学 部	経 済 学 科										
法 学 部	法 律 学 科										
社 会 学 部	社 会 学 科										
募 集 人 員	各 学 部 若 干 名										
出 願 要 件	<p>次の(1)～(3)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1) 日本国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していない者で、次のア～カのいずれかに該当するもの</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を平成30(2018)年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」合格者で、平成30(2018)年3月31日までに18歳に達する者等が該当します。)</p> <p>なお、「学校教育における12年の課程」とは、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであり、修了により当該国の大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>イ 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成29(2017)年度までに授与された者で平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>ウ 外国においてドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29(2017)年度までに授与された者で平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>エ 外国においてフランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29(2017)年度までに授与された者で平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>オ 外国においてグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCE Advanced Level)資格を平成29(2017)年度までに授与された者で、平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>カ 外国においてアメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンブシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成29(2017)年度までに卒業(修了)した者で、平成30(2018)年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>※ ここでいう「外国において」とは、「地理的に外国において」ということを指します。</p>										



<p>出 願 要 件</p>	<p>※ 日本の小学校・中学校・高等学校に在学していたことがある者は、その期間が4年以内であれば、この要件に該当するものとします。ただし、この場合においても、高等学校の在学期間は1年以内とします。</p> <p>※ オについては、出願書類として以下の受験結果を証明する書類を提出できること。</p> <p>① GCE Advanced Level 3科目、又は</p> <p>② GCE Advanced Level 2科目と GCE Advanced Subsidiary Level 2科目の合計4科目、のいずれかの受験結果</p> <p>ただし、受験結果は評価E以上のものに限る。</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29(2017)年の「日本留学試験（〔文系〕日本語、総合科目、数学（コース1））」を日本語又は英語いずれかの言語により受験し、日本語（記述を除く。）、総合科目、数学（コース1）の合計点が680点以上である者</p> <p>(3) TOEFL (iBT, PBT)（平成28(2016)年2月4日から平成29(2017)年10月31日までに実施したものに限り。）を受験しており、以下の基準スコア以上の成績を修め、その成績証明書等（「Official Score Report」原本（ETS事務局から一橋大学（DI Code:0436）へ直送する手続きが必要）及び「View Score」又は、「Test Taker Score Report」を印刷したもの）の両方を提出できる者</p> <p>基準スコア TOEFL-iBT（48点）、TOEFL-PBT（460点）</p>																													
<p>選 抜 方 法 等</p>	<p>○ 選抜方法</p> <p>学力試験〔日本語（社会・文化に関する論文等を示して、日本語の作文力、読解力などをみます。）〕の成績及び提出書類等により総合的に判断して行います。</p> <p>○ 日本留学試験、TOEFL、本学学力試験の配点</p> <table border="1" data-bbox="475 1402 1257 1805"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>科目</th> <th>満点</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">日本留学試験</td> <td>日本語</td> <td>400</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>総合科目</td> <td>200</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>数学コース1</td> <td>200</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>800</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>英 語</td> <td>TOEFL (iBT)</td> <td>120</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>本学学力試験</td> <td>日本語</td> <td>116</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ TOEFL(PBT)はETSの換算表によりiBTに換算する。</p>	区分	科目	満点	配点	日本留学試験	日本語	400	300	総合科目	200	400	数学コース1	200	300	合計	800	1,000	英 語	TOEFL (iBT)	120	420	本学学力試験	日本語	116	580	合 計			2,000
区分	科目	満点	配点																											
日本留学試験	日本語	400	300																											
	総合科目	200	400																											
	数学コース1	200	300																											
	合計	800	1,000																											
英 語	TOEFL (iBT)	120	420																											
本学学力試験	日本語	116	580																											
合 計			2,000																											
<p>出 願 期 間</p>	<p>平成29(2017)年12月18日（月）～平成30(2018)年1月4日（木）（必着）</p>																													
<p>選 抜 期 日</p>	<p>本学学力試験 平成30(2018)年2月3日（土）</p>																													
<p>合 格 者 発 表 日</p>	<p>平成30(2018)年2月27日（火）13時00分</p>																													

## 12 学生募集要項について

### (1) 募集要項の公表

出願手続、入試方法等を記載した各募集要項の公表時期は、次のとおりです。

募 集 要 項 名	公表（予定）時期
一般入試募集要項	平成 29 年 11 月下旬
推薦入試募集要項（出願書類付）	平成 29 年 9 月中旬
外国学校出身者入試募集要項（出願書類付）	平成 29 年 9 月中旬
私費外国人留学生入試募集要項（出願書類付）	平成 29 年 9 月中旬


### (2) 募集要項，大学案内の請求方法

※ 一般入試募集要項の請求方法については、決定次第、本学のウェブサイトでお知らせします。

※ 請求方法により、配送の手段、送料、手数料などが異なる場合がありますので、適当な方法を選択の上、ご請求ください。

#### ○「テレメール」を使った資料請求方法【受付から1～2日で送付】



##### 1. 本学のウェブサイトから請求する場合

本学のウェブサイトから、テレメールを利用して募集要項等の資料請求ができます。（資料請求番号の入力は不要です。）

詳しくは、<http://www.hit-u.ac.jp/admission/request/index.html> をご覧ください。

##### 2. インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話で請求する場合

① 次のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

 テレメール	インターネット （パソコン・スマートフォン・携帯電話）の場合	自動音声応答電話の場合	
	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> パソコン，スマートフォン，携帯電話とも共通 アドレスです。	IP 電話	050-8601-0101 （24 時間受付）
バーコード ※ スマートフォン，携帯電話 でバーコードを読み取り，アク セスした場合は資料請求番号の 入力不要です。			

※ IP 電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

※ 自動音声応答電話による請求の場合、住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

② 資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金（予定） （送料含む）
大学案内	561952	215円
入学者選抜要項	581992	180円
入学者選抜要項・大学案内	561982	300円
推薦入試募集要項	581962	180円
推薦入試募集要項・大学案内	541962	300円
外国学校出身者入試募集要項	581972	180円
外国学校出身者入試募集要項・大学案内	541972	300円
私費外国人留学生入試募集要項	581982	180円
私費外国人留学生入試募集要項・大学案内	541982	300円

③ ガイダンスに従って登録してください。

※ 請求から1～2日後に資料が届きます。随時発送の資料が、1週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※ 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です（コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円）。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※ 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※ 上記1. 2の請求方法についての問い合わせ先

株式会社フロムページ テレメールカスタマーセンター  
電話 050-8601-0102（9時30分～18時00分）

○ 「モバっちょ」を使った資料請求方法〔受付から1週間程度で送付〕

パソコン、スマートフォン、携帯電話から請求できます。

お急ぎの方は宅配便も選択できます（料金が異なります）。

「モバっちょ」

<http://djc-mb.jp/hit-u3/>

QRコード



資料名	料金
大学案内	200 円
入学者選抜要項・大学案内	300 円

## 料金の支払い方法

①請求時払い（支払手数料 50 円が別途必要です。）

※ 携帯・スマートフォン払い，クレジットカード決済ができます。

※ 携帯電話・スマートフォンの機種，携帯電話会社との契約状況によってご利用できない場合があります。その場合は後払いを選択してください。

②コンビニ後払い（支払手数料 126 円が別途必要です。）

※上記請求方法についての問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

電話 050-3540-5005 （平日 10 時 00 分～18 時 00 分）

## 入学試験に関する問い合わせ先

〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地

一橋大学 学務部 入試課

電話 042-580-8150 FAX 042-580-8158

9時00分～17時00分（土・日曜日，祝日，年末年始は除く。）

〔 電話・FAXによる問い合わせは，入学志願者本人が行ってください。〕  
〔 また，可否に関する問い合わせには応じられません。 〕

